



1. 安全教育の取組

＜はじめに＞ 安全確保のために必要な知識・行動を理解し、生命尊重や安全な生活を送る基礎を培い、安全で安心な社会づくりに貢献できるようにすることを目的に以下の取組を進めていきます。

＜取 組＞



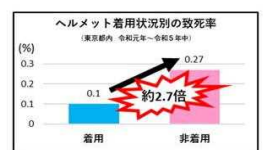
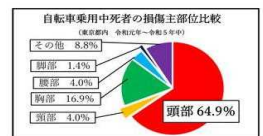
登校指導



部活動集会



交通安全教室



避難訓練



防犯教室



防災教室



薬物乱用防止教室

(1) 登校指導 <4/8-10>

年度始め、本校職員で校舎北側・北西側・南側及び通学生徒の多い道路の交差点や横断箇所にて交通指導を行いました。(地域の方には毎日見守っていただいています)

(2) 自転車通学生集会 <4/11>

自転車通学生保護者会と連携して、今年度よりヘルメット着用となりました。自転車通学生には集会を通して利用の約束を確認し、後日、部活動集会の中でも同様の指導を行いました。

(3) 交通安全教室 <1・2年5/21>

帯広警察署より講師を招き、主に全国的に事故の多い自転車の使用についての指導を実施しました。

(4) 避難訓練 <4月・9月・11月>

様々な状況下で、避難経路や「危険を予測し、回避する」行動を確認していきます。

(5) 防犯教室 <2年6/23>

道警より講師を招き、闇バイトなどの犯罪への入り口や、いじめが及ぼす影響について学習します。今回は、いじめで子を亡くした母親の手紙動画を紹介し、子ども達の心に響く内容を予定しています。

(6) 防災学習 <1年12/8>

市役所より講師を招き、危険の予測や備えの大切さを学習します。また、避難所設置や運営など、地域の中での役割について考えを深めます。(平成28年の豪雨の際、翔陽生が避難所で活躍したことを大切にしたいです)

(7) 薬物乱用防止教室 <3月>

講師を招いて、3年生を対象に薬物の恐ろしさや、忍び寄る誘惑から自身を守るための学習をします。

＜本校の特色として＞

(8) NET利用安全教室「被害者にも加害者にもならない」

NET利用の利便性とリスクについて、具体例を示しながら、様々な場面で考える機会を設定しています。



スマホ安全教室



情報モラル教室

① 携帯・スマホ安全教室 <12/1>

外部の専門職員を講師に、情報リテラシーを身につけ、情報を賢く扱うにはどうしたらいいのかを考える学習を実施します。

② 情報モラル教室

道徳の授業でも情報モラルにかかわる学習を行います。

(9) いのちの学習「自分を守り、相手を守り、命を守る」

「多様性、思春期の心と体」への理解を通して、「いのちの尊さ、責任」について深く考える機会にしています。



① 1年「多様な性」の学習

性の多様性、当事者の悩みについて学習します。昨年度は、「多様性を認め合うこと」、「人権の大切さ」、「悩んでいる人に自分ができること」について考える姿が見られました。



② 2年「対等な関係」の学習

「いやな思いをなくす方法」や「デートDV等の性暴力」について学習します。昨年度は、「いやな思いや性暴力をなくすにはどうしたらいいか」を真剣に考える姿が見られました。

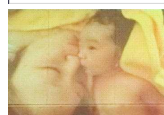


③ 3年「生と性」の学習 <助産師>

「いのちの誕生の奇蹟」、「思春期の心と体」、「望まない妊娠や性感染症」、「避妊」、「SNSの正しい選択」について学習します。昨年度は、「命の尊さ」、「親の深い愛情」、「命の責任」について考える姿が見られました。



対話を重ねる



考えを深め合う

④ 全学年「SOSの出し方」の学習

「ストレスの対処法」、「困ったときの解決方法」について学習します。「SOSの出し方」や「悩んでいる人へのサポート」について考える機会にします。

⑤ 相談窓口の案内

翔陽中ガイドに掲載している相談窓口の他に、毎朝行っている「心の健康アプリ」、「翔陽版お悩みポスト」についても改めてお話しします。(カードはすでに配付しています)



翔陽版「お悩みポスト」

＜目指す姿＞ 自他を尊重し、思いやりのある生徒（生徒像3）

- 昨年度は学習を通して、「今だけ、自分だけ」ではなく、「これから、みんなも」幸せに生活するために、「自分にできることは何だろう」と考えている姿が多く見られました。
 - また、困ったときには相談することが大切で、困っている人の力になろうとする生徒も多くいました。
- ※今年度も、さらに工夫しながら取組を継続していきます。

＜教育活動の具体＞

「翔陽」（特別号①）では、学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の「概要」を紹介しましたが、本紙では「具体」を紹介します。

①安全指導の取組（p1）

②学力向上の取組（p2～3）

③体力向上の取組（p4）

④豊かな心を育む取組（p5～6）

⑤小中連携（学びをつなぐ）（p7～8）

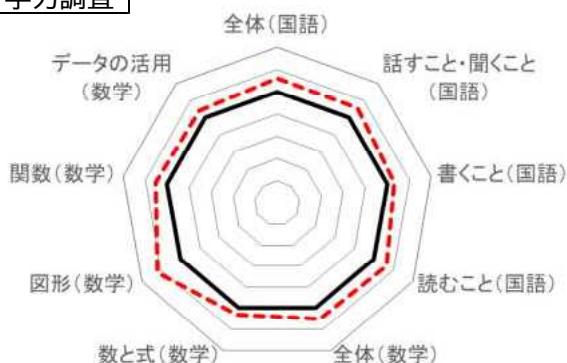
2. 学力向上を目指して 主体的に学ぶ生徒

＜全国学力・学習状況調査＞



令和6年度（昨年度）4月に実施した結果は以下の通りです。今年度の結果は後日お伝えします。

学力調査



生徒質問紙



国語

- 平均正答率が全道・全国を大きく上回っており、小6年時よりも向上している。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることにおいて、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 記述問題において無解答が少なく、最後まで解答しようとする意識が高い。
- △ 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することにおいて課題が見られた。

数学

- 平均正答率が全道・全国を大きく上回っており、小6年時よりも向上している。
- 二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することにおいて、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- 図形の移動や、簡単な場合について確率を求めるなど、基礎基本を問う問題において、正答率が全道・全国を大きく上回っている。
- △ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られた。

生徒質問紙

- 国語・数学の勉強が大切だと感じている生徒の割合が、ともに全道・全国を上回っている。
- 分からないときや詳しく知りたいとき、自分で学び方を考え、工夫している生徒の割合が、全道・全国を上回っている。
- 自分にはよいところがあると感じている生徒の割合が、全道・全国を上回っており、小6年時よりも多くなっている。
(自己肯定感の高い生徒は、正答率が高い傾向にありました)
- △ 平日の家庭学習（1時間以上）の生徒の割合が、全道・全国を大きく下回っている。
(平日1時間以上の生徒は、正答率が高い傾向にありました)

令和6年度の結果を受けて、主に以下の取組を実施してきました

- 国語で漢字を正しく書くことや、数学で図形の移動や簡単な場合の確率を求めることなど、基礎基本の定着が見られた。授業における復習時間の確保や家庭学習での反復を継続してきた成果と考え、引き続き実施しています。
- △ 本文の内容を解釈し、自分の考えを表現することにおいて課題が見られました。以下の取組を継続し、思考力・判断力・表現力を高める授業づくりを進めています。また、家庭での学習習慣の定着に向けても進めています。(具体的な取組は次ページに掲載)
- ① 学習内容の定着に向け、授業の中で復習や反復、ふり返りの時間を設定し、状況に応じ学び直しや発展的学習に取り組んでいます。(家庭学習の取り組み方についても、全体および個別の指導を継続しています)
- ② 授業の中で「考えの理由」を話したり、書いたりする場面を設け、単元の終わりに「活用する」場面を設定しています。(朝読書の継続や読書の推奨、授業の中で本文の内容を解釈することや要約する活動を丁寧に行っています)
- ③ 生徒指導の視点（自己存在感、自己決定、共感的人間関係、安全安心）での学習環境をつくり、主体的な学びを目指しています。
- ④ 各種テストや調査、授業アンケート等を活用しながら、短期間で検証・改善しています。

<取組> (1) 指導工夫で学びの充実へ

① 読書活動



朝読書

② ICT活用



授業でのICT活用

③ 放課後・塾講師学習会



放課後の学習会



塾講師による学習会

④ 夏・冬休み学習会



夏・冬休み学習会

(お花教室)



お花教室

(実験教室)



実験教室



実験教室



ブタ眼球解剖

人工授精



岩石標本

ウシ生殖器解剖

<朝読書>

読書の習慣化、落ち着いた日常を定着していく「朝読書」を朝の会の前に行います。

<タブレットの活用>

大型モニターや、1人1台端末の活用により、個々の習熟度や興味に応じた学習を充実させるなど、効果的な指導工夫を進めます。

<はばたき学習クラブ>

【放課後版】

前期中間テスト前の3日間、放課後に実施します。教員に質問しながら、自分の課題に合わせた学習を行います。

【塾講師版】

地域ボランティア(塾講師)が、3年生希望者を対象に5日間、放課後に受験勉強のサポートを行います。

【夏・冬休み版】

夏休みに6日間・冬休みに3日間、教員に加え、高校生・畜大生・地域ボランティアの協力のもと実施します。宿題や課題、eライブラリー等に取り組みます。

<お楽しみ教室>

【お花教室】

夏休み・冬休みに地域ボランティアを講師に招いて実施します。季節の花をアレンジし、表現力や情操を高める活動を行います。

エリアの児童生徒・保護者・教職員も参加できます。

【実験教室】

夏休み・冬休みに児童会館や釧路高専、本校職員が地域ボランティアの協力のもと実施します。児童会館と釧路高専の実験内容はお楽しみ(未定)ですが、本校職員の実験内容は、夏はブタの眼球解剖実験や自身の見え方実験、冬はウシの生殖器解剖実験や性周期、遺伝について学習します。また、十勝の歴史や畜産業、食文化についても学習を深めます。エリアの児童生徒・保護者・教職員も参加できます。※いずれも近くなりましたら生徒を通して案内します。

(3) よりよい授業を目指して

研究テーマ「学習指導と生徒指導の一体化」～生徒指導の4つの視点をいかした授業づくり～により、生徒の自己指導能力の向上をめざして、計画的に校内研修(教員や関係者による授業参観や協議)を行っています。



「授業づくり」研修



エリア公開授業



研究協議

<現 状> R7.1月
授業を通して、学
ぶ意欲が高まったり、
理解できたり
したと感じている
全校:74%

① 生徒指導の視点の研修 <4/4>

生徒指導の視点(①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の形成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成)をいかし、生徒理解に基づく学習者主体の授業づくりを進めるため、生徒指導提議をもとにした研究内容の確認や事例の紹介、計画づくりを行いました。

② アセス活用研修 <6/23>

アセス調査をもとに、学級全体と生徒個人の適応感を調べ、生活満足感を満たす因子の適応状況から学習と生活に必要な手立てを研修していきます。

③ 授業研究

校内で計画的に全学年の授業研究を実施します。11月はエリア公開研(東小会場)の実施、校内研修で指導主事を招き、全学年の研究授業と協議を行います。ICTの活用、生徒指導の視点、効果的な対話をとり入れながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を用いた授業づくりを実現するため、積極的に外部の助言を活用していきます。

④ 授業に関するアンケート <複数回>

生徒と教員からアンケートをとり、定期的に取組を振り返って、授業づくりの参考にしていきます。

(4) 学習習慣の定着を目指して



自学ノート



家庭学習用教材を自由に使えます



学習の振り返り



大人向け学習会

<現 状> R7.1月
毎日の家庭学習を
取り組んでいる
全校:68%

① 家庭学習の推進

日常的に家庭学習に取り組み、積み上げていくために、宿題や課題以外に自学ノートなどを活用しています。昨年は、生徒会学習委員会の呼びかけや、先生からの励まし・助言を受け、多くの生徒が工夫しながら粘り強く取り組んでいました。

② 自らの取組への振り返り

テスト計画表の振り返りや教育相談により、将来を見据え、自分を見つめる機会としています。昨年は、多くの生徒が考えを整理し、自己決定して行動に責任や覚悟をもつようになりました。

③ 家庭との連携

地域ボランティア(畜大練成会塾長)を講師に招き、「大人向け学習会」を2学期に実施します。進路情報や家庭での声かけなどについてお話しします。また、懇談会や通信等を通して家庭と一緒に環境づくりを進めていきたいと考えています。

(2) キャリア教育の充実へ

将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うための取組を行います。詳しくは、p6「**将来の自分の姿を考えるための取組**」で紹介しています。

<目指す姿> 主体的に学び、向上心のある生徒(生徒像1)

- 昨年度は、授業づくりとアンケートの活用により、効果的な取組の改善につながり、生徒の達成感が高い状態でした。
- また、キャリア教育の視点での教育活動や教育相談により、生徒は将来を見据え、主体的な取組へと変化していきました。
- ※今年度も、さらに工夫しながら取組を継続していきます。

3. 体力向上を目指して

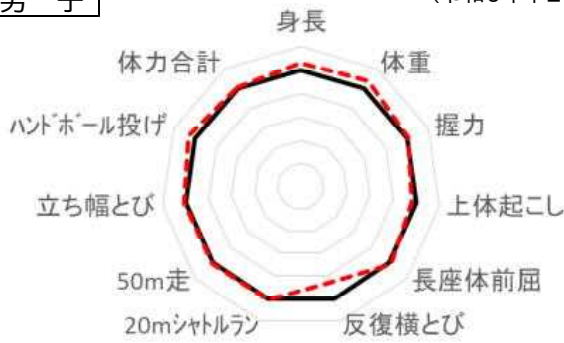
たくましい生徒

＜取組＞

＜全国体力・運動能力・運動習慣等調査＞

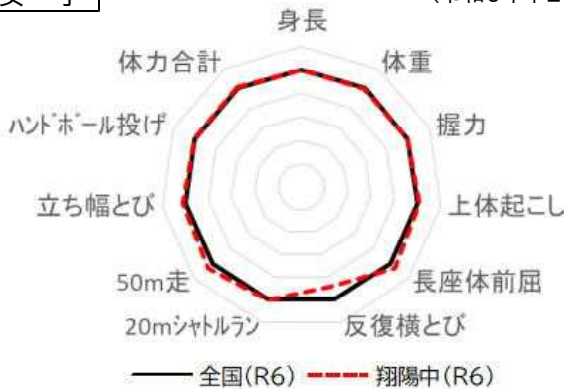
男子

(令和6年中2の結果)



女子

(令和6年中2の結果)



＜体力・運動能力＞

男子 女子

種目	体力要素	全国比	全国比
身長		○	—
体重		○	—
握力	筋力	○	—
上体起こし	筋パワー・筋持久力	△	○
長座体前屈	柔軟性	○	○
反復横とび	敏捷性	△	△
20mシャトルラン	全身持久力	—	—
50m走	疾走能力	—	○
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	○	○
ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	○	—
合計		○	○

※ 全国比… R6全国中2の得点より、高い(○)、同程度(—)、低い(△)

＜R6の全国中2と比べて＞

- 柔軟性・跳躍能力が高い (男女共通)
- △ 敏捷性に課題が見られた (男女共通)

生徒質問紙

※ グラフは、男女それぞれの全国平均に対する相対



(1) 体育授業の工夫

効率的な体の使い方の指導や、基礎的な筋力を向上させる運動を取り入れ、運動量を確保した授業展開を行っています。教え合いやICT活用等で、できる喜びを感じる授業を目指します。

(2) 対抗戦「Sリーグ」の実施

球技大会(Sリーグ)や、体育祭等の体育的行事を実施しています。生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めています。

(3) 日常的に運動に親しむ機会の設定

昼休みの体育館開放を実施し、生徒が楽しく汗を流せる機会をつくります。また、部活動等で日々汗を流している生徒もたくさんいます。

(4) 感染対策と教育活動

感染症等の状況を注視し、その都度、市教委の指導・助言のもと教育活動を進めています。

(5) 望ましい生活習慣の定着

食育指導員による食育指導を実施します。食育通信や給食だよりを活用した情報発信や個別の相談、家庭科での「調理実習」を行い、「食の大切さ」について学習していきます。また、担任による生徒や保護者との教育相談、保健での学習、顧問による部活動指導等を通じて、栄養・休養・運動の大切さを保護者に協力をいただきながら伝えていきます。

＜生徒質問紙＞

- 体育の授業で「記録に挑戦した」「友達と協力した」「できるようになった」ことが楽しかったと答えた生徒の割合は、全国を上回った。また、ICTを活用して「できるようになった」と答えた生徒の割合は、全国を大きく上回った。
- 「運動が好き」、「朝食を毎日食べている」、「毎日7時間以上寝ている」生徒の割合は全国を上回った。

＜目指す姿＞ 何事にも挑戦し、やり抜く生徒(生徒像2)

- 体育で「挑戦した」「協力した」「できるようになった」ことが楽しい目的をもって授業に臨み、ICT活用や教え合い、振り返りを通して「できるようになった」と感じている生徒が多く、そのような授業の工夫により「楽しい」授業になっていると考えています。
 - 「運動が好き」、「朝食を毎日食べている」、「毎日7時間以上寝ている」保健体育や食育指導を通して、健康についての意識が高まっていると考えています。
- ※ 体力・運動能力も向上しており、今後も、さらに工夫しながら取組を継続していきます。